



記入日	西暦 2020 年 1 月 13 日 (2019 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高知県立大方高等学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	5
タイトル 内容を端的に示し, 中身を見たくなるタイトルをつけてください. 計画時のタイトルと同じである必要はありません	出張 H U G
実践担当者のお名前	上原健 近森美保

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか, 選択肢から <u>該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す</u>	1 0 0 0 円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例: 月に 1 度, 1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 <u>該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す</u>	数日
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	西暦 2019 年 7 月 10 日 1 6 時～1 8 時 西暦 2019 年 10 月 5 日 9 時～1 1 時
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください. 例: 2 時間×2 日=4 時間	4 時間
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)</u>	中学生・高校生・教職員・保護者・PTA・地域住民
防災教育の対象者の人数	約 4 0 人
実践を行った都道府県と市区町村	高知県幡多郡黒潮町／高知県四万十市
実践を行った具体的な場所 例: ○○小学校体育館	にしきの広場(福祉避難所)／蕨岡中学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	



達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	・本校が作成したオリジナルHUGの活動を、地域の方や近隣の中学校にも広げる。 ・立場の違う人たちと一緒にオリジナルHUG実践を行うことで、本校の生徒たちが新たな気づきを得る。	
どの力を身につけようとしたか？ 該当しないものを削除し該当するものを1つ残す	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	【出張HUG in 福祉避難所】 ①事前準備 ・災害時、要配慮者の方に必要な支援について、DVD、特別支援学校の先生の講義、被災地の高校生へのインタビューなどから学習する。 ・元々のオリジナルHUGに加え、要配慮者を想定した架空の人物カードを作成する。 ・福祉避難所の見取り図を用意する。 ②福祉避難所でオリジナルHUG実践 ・昨年度作成した本校のオリジナルHUGを用いて福祉避難所の職員の方とHUGを行う。 ・本校生徒と職員の方とで振り返りを行い、一般の避難所と福祉避難所との連携について確認する。 【出張HUG in 蕨岡中学校】 ①事前準備 ・本校の防災活動と、オリジナルHUGを作成した過程についてまとめた発表の準備をする。 ②蕨岡中学校でオリジナルHUG実践 ・中学校の参観日の一環として、中学生の保護者の方や地域の方にも参加していただき、オリジナルHUGを実践する。	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	・昨年度作成して、多くの方々と実践してきたオリジナルHUGであるが、これまでは本校に来てくださった方との実践にとどまっていた。今回はこちらから出向き、他の施設を想定してオリジナルHUGを行うことができた。	



	・福祉避難所での実践においては、福祉避難所に指定されたばかりで不安と戸惑いのある施設職員の方の声に応えることができた。 ・施設利用者のことを具体的に頭に思い浮かべ、真剣に議論する職員の方の姿から、本校の生徒が良い刺激を受けることができた。 ・被災時には本校が避難所になるが、単体として動くだけでなく近隣の他の避難所との連携も必要であるということに気付くことができた。 ・中学校での出張HUGは、中学生の保護者や地域住民の方とも一緒に実践をすることができ、様々な目線で避難所運営を考えることができた。 ・実践の中で高校生にはない発想を中学生から聞くことができ、新たな発見があった。	
どのくらい身につきましたか？ <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u>	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	・大人はすぐにゲームの要領がつかめるが、中学生は最初どのような意見を出せばよいのか戸惑っていた。要領がつかめたころには制限時間がきてしまったので、小学生や中学生もゲームに参加しやすい工夫をこれから考えていきたい。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
<u>1つの実践事例に複数の関係者がある場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください</u>	
関係者の名前・団体名	蕨岡中学校
関係者の説明	
関係者の連絡先	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
<u>1つの実践事例に複数の関係者がある場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください</u>	
関係者の名前・団体名	あったかふれあいセンター にしきの広場
関係者の説明	デイサービス施設
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ



1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	
伝えたい内容	オリジナルHUGが、人物カードや見取り図を変えて色々な施設で実践ができるということに気付きました。そして色々な立場の方が、高校生と一緒に実践をしたいと思ってくださっているということを知り、ありがたく思っています。